

コース長挨拶	1
教職員から	2
学生から	3
卒業生から	4
2021年度の進路指導について	5
2021年度進路先一覧	5
2021年度人間情報工学コース日誌	6
2021年度受賞・表彰	7
人間情報工学コーススタッフ紹介	8
2022年度人間情報工学コース役割分担	8
編集後記	8

発行◎秋田大学 理工学部 数理・電気電子情報学科 人間情報工学コース
 Human-Centered Computing Course, Akita Univ.
 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 Tel.018-889-2785 Fax.018-837-0408
<https://www.ie.akita-u.ac.jp/>

コース長挨拶

引き出しをいっぱいにして

景山 陽一

入学された皆さん、進級された在校生の皆さん、誠におめでとうございます。残念ながら、進級が叶わなかった方や成績が伸び悩んだ方は、その経験や思いを糧とし、慌てることなく丁寧に歩みを進めていただきたいと思います。

さて、この2年間で私たちの日常は随分と変化しました。大学の授業も対面とオンラインの併用により行われ、会議や学会もオンラインが主流となっています。自分の居室から遠隔にいる人たちと気軽に話すことができる一方で、会話時に視線があわないことや映像と音声のズレに対する違和感を覚えることがあります。情報の共有は比較的容易になりましたが、気持ちを共有するためにはさらなる創意が必要と感じています。

私たち人間情報工学コースは、ヒトを中心とした情報技術に関する教育・研究を行っています。情報技術は各分野の基盤となるため、多様な分野の人たちと関わりを持ちます。Society 5.0の社会を構成する人材として活躍するためには、自分自身の専門性や長所を磨くとともに、他者(他分野)

を理解し受け入れる“大らかさ”が必要と思います。

大学生活では勉強はもちろんですが、様々なことを経験できる最も良い時期だと思います。迷うならば是非チャレンジしてみてください。できるだけ、皆さんの引き出しにたくさんの知識や経験、思いを詰め込んでください。すぐに役に立つことも、数年後に役にたつことも、10年後位にようやく役に立つこともある、かもしれません。一見関係のないようなことも、実は本質が同じであることが多々あります。「ああ、そういえば…」と複数の経験が重なって広がりを持ち、新しいことに取り組めることがあります。また、比較する基準が増えると、今までとは違った視点で対象を捉えることができるため、理解が深まります。

今後も“解のない未知なる問題”に直面し、決断を迫られる機会が増えるでしょう。でも大丈夫です。失敗したと思ってもその経験が将来の新たな扉を開いてくれます。皆さんの引き出しがいっぱいになり、これからの生活が実り豊かなものになるように、私達スタッフは全力で応援します。

教員退職の挨拶

新たな一歩

高橋 秋典

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。コロナ禍で難しい受験を乗り切った皆さんが、夢と希望を抱いて大学生活に励んでいかれることを祈念しております。

このコロナ禍によって、大学における教育もさまざまな場面で大きく変化しました。特に変わったのが、ビデオ会議システムやE-ラーニングシステムを活用した遠隔授業と対面授業が混在する講義スタイルです。遠隔授業では、ライブ配信と同時に講義の様子が録画され、いつでも視聴できるオンデマンド配信の自習教材として活用できるようになりました。講義だけでなく、実験・実習についても、作業内容を収録した動画教材が充実するようになりました。これらは、コロナ禍において教育の継続性を確保するための対応策でしたが、その過程において作り出された新しい教育スタイルは、今後、教育機関のみならず行政や民間の場においても、新たな展開をしていくと感じています。

このことは、難解な課題が起こったとしても、多様な分野の知識を結集することで、新しい「解決策」を産み出すことができる一例かと思えます。皆さんも今後4年間(大学院を含める

と6年間)、一般教養を含む基礎知識から専門分野の応用知識まで学ぶことで、新しい時代で「課題解決」を見出せるスキルを身につけ、社会で活躍できる人材になれるはずです。スキル習得のスピードには個人差もあります。周りと比較せず、焦らず着実に努力を続けていけるように頑張ってください。大学は、自由な発想を行い、自分の意志で学ぶことができる場所です。皆さんが持っているさまざまな夢が、社会を豊かにする新たな学問や健全な技術を生む原動力になります。これから始まる大学生活で、いろいろなことを体験し、有意義に楽しく過ごしてください。

最後になりますが、私は3月末で秋田大学を退職しました。新設間もない鉾山学部情報工学科に採用されて以来、7つの研究室に所属してさまざまな研究分野に携わることができました。また、教育活動では学部の基礎的教育に貢献できたのではと思っています。これまで、ご指導いただいた教員の皆様、研究室とともに学んだ学生の皆様に感謝申し上げます。今後は、秋田大学の発展を見守りつつ、新しい人生を歩んでいこうと思います。

学びて時に之を習ふ

鄒 敏

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は、2021年7月に人間情報工学コースの助教として着任しました鄒敏(すうびん)と申します。出身は中国の山東省です。山東省出身の有名人は孔子です。孔子が書いた『論語』に『学びて時に之を習ふ』という文があります。現代語訳は『習ったことを常に復習し身につけていくこと』です。2500年前の学者のある考えは現代にも通用しています。

知識というものは得たら終わりと考えている方は多いのではないのでしょうか?しかし、「学び」というのはそれほど単純なものではありません。どんなに優れた才能を持っているスポーツ選手や職人であっても、繰り返し練習を続けなければ腕は鈍ります。人間情報工学コースの学生として将来プログラマーやシステムエンジニアを目指している方は多いと思います。プログラミングが上達するコツの一つは反復練習です。一つのセンテンスを何回も繰り返せば、ある程度体と頭で覚えるようになります。学び終えた内容を体で覚え、自然とコードを書けるまで練習することは一番大切です。体が自然にコードを書けるようになると、効率良く楽しいプログラミングができるようになります。

また、皆さんの中には、在学中に基本情報技術者などの資格を取りたい方がいると思います。資格の受験勉強には、隙間時間を活用してテキストを繰り返し読み、少しずつ理解を深める方法がお勧めです。パナソニック株式会社が行った調査によると、日本人の無駄な隙間時間は1日1時間9分もあるそうです!1週間だと無駄な時間が約8時間になります!!1か月だと240時間になります!!!ITを初めて学ぶ人の場合、基本情報技術者の資格を取るために200時間程度の学習が必要だと言われていますので、毎日の隙間時間を活用することができれば、合格する可能性はグーンと上がるでしょう。

もう一つの例を挙げますと、「7回読み」勉強法というものがあります。東京大学法学部を首席で卒業し、現在は弁護士として活動する山口真由さんが紹介している勉強法です。この勉強法は名前の通り、「テキストなどを7回読む」ことです。1~3回目では、内容を読み、テキスト全体を把握し、理解の土台を作ります。そうすると、4回目からテキストの内容をはっきりと理解できるようになっていきます。5回目からは、理解度が2割から8割に急激に上がります。

6回目では、テキストの再現がほぼ可能な状態になります。そして7回目では、細部まで理解が及ぶようになっていきます。このような繰り返し復習をしながらの勉強方法は、本当の意味の「学び」と言えるでしょう。

意識を向ける

伊藤 悠大

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。また、人間情報工学コースに配属された皆さま、理工学部5号館による。私は、技術職員の伊藤悠大と申します。皆さんとは実験系の授業や、5号館の廊下でお会いする機会も多いかと思えます。これからよろしく願いいたします。

皆さんは研究について意識したことはありますか?入学したての頃の私は、全く意識したことはありませんでした。皆さんは、学部1年次から学部3年次の間に学んだ知識を総動員し、学部4年次で丸1年間をかけて研究を行います。研究では、自分が配属された研究室の方々と助け合いながら、未だ明らかにされていないことに対して、自分なりの答えを生み出します。そして、生み出した答えを、発表や論文投稿を通して、同じ分野の研究を行っている人々が集まる「学会」というコミュニティーに共有し、意見交換を行います。

もし、自分自身が研究を進められるか、そもそも授業について行けるか不安に思った方がいらっしゃいましたら、その不安はきっと杞憂に終わると思います。そのために、コースの教職員や先輩方がいらっしゃいます。相談や質問のために、教職員の方に連絡をしたり、研究室を訪れたりした際には、快く迎えてくださるはずですよ。また、研究を面倒なことと想像してしまった方、少なからず私も気持ちが分かります。原因は、研究についての知識が少し偏っていることや、研究に関する話を聞く際の姿勢や環境がほんの少し悪かったためだと思います。私自身も、技術職員として業務を進めながら、学位取得に向けて研究を行っております。研究活動を通して、社会に出た際に自分の考えを他人にうまく伝える力や、物事を順序だてて論理的に考える力が付くということによく耳にしますし、紛れもない真実です。しかしながら、それ以上に、研究は自分の責任で行うものであるため、自分の気持ちに従って進められる楽しいもののはずです。例えば、自分の解決したい問題に挑んだり、何か新しいことを発見するために様々な組み合わせを試行錯誤したり、想像を形にし、その性能を実験で確かめたりと、自分の気になる物事に没頭することができる数少ない機会です。また、何物にも邪魔されずに研究できるのは、学生の今だけであり、後悔しても簡単に取り戻せる期間ではありません。ぜひ、学生生活を満喫してください。そして、もし、この文章を読んでくださった皆さんが、研究を意識してくださったのなら、とても嬉しく思います。

人情

2020年4月入学

ゲン タイン トウアン

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生の皆さん、大学生活がいかがでしょうか？私はベトナムの留学生で、2年前に故郷から一歩踏み出して、秋田大学を受験しにきました。秋田駅に降りた瞬間、後ろから、「寒くない？はい、温かいお茶どうぞ」と迎えに来た先輩の声を聞きました。秋田の冬の中で、その「人情」は十分私の心を温めました。2年間秋田大学で勉強して、もうすぐ3年生になる私に、その「人情」を実感した話をさせてください。

「人情」といえば、誰かに何かをしてあげる性質だと思われそうですが、秋田大学の理工学部に入ったら、皆さんはもう一つの「人情」を知ることになります。それは、人間情報工学コースの略語で、「人情」と言います。最初に聞いた時は、「理工学部で思いやりなどを教えてくれるの？」とびっくりしました。実は、人間情報工学コースでは、情報技術だけではなく、プログラミングで他の人が読みやすいコードを書いたり、チームワークの中でチームメンバーの状況に自分が合わせる習慣も授業で身につきます。つまり、「人情」の中で人情を学ぶことができます。

学部1年生の間は、プログラミングに直接関係のない授業もありますが、様々な分野について広く学び、学校だけでなく、地元のプロジェクトなどにも全力で参加しましょう。将来のキャリアに直結する方向性が見えると思います。私は1年生の時に自主制作の雑誌プロジェクトに挑戦しました。これは、秋田県内で活躍している人を探し、インタビューし、その人の美しい言葉が多くの人に届くような雑誌を作るという計画でした。私は、高齢者に「笑いヨガ」を教えている先生をインタビューするチャンスに恵まれ、秋田県の高齢者の喜びのために力を尽くしている人を見て、再び「人情」を感じました。学部2年生になると、専門の授業が始まり、自分でPCを組み立て、プログラミング言語を学び、ウェブサイトを作る実験もありました。他にも、チームでビデオコンテンツ制作やスマホアプリ開発を学びながら、情報を論理的に考える力を身につけることもできました。

2年間が経って、人間情報工学コースといえば「人情」という言葉がすぐに頭の中に浮かぶようになりました。皆さんも、ヒトを中心とした情報通信技術を研究する人間情報工学の「人情」と、他人のために自ら行動する「人情」を実感してほしいです。人間情報工学コースでお会いしましょう。

Information of
情報

学生から

環境に慣れる

2019年4月入学

八嶋 竜也

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの大学生活に対して、期待とともに不安を抱えている人がほとんどだと思います。私からは、私の大学生活の変化について紹介します。

私が入学したばかりの頃は、新しく始まった生活を楽しみながら過ごしていました。しかし、食生活や友人関係、生活する場所などといった環境の変化が大きかったせいか、体調を崩す日がたまにありました。私自身は普段通りに過ごしているつもりだったのですが、今思うと身体が新しい環境に慣れていなかったのかもしれませんが。生活を続けていると友人とも仲良くなり、授業にも慣れて毎日元気に大学に通いながら1年を過ごしました。ところが、私が2年生になった時、また環境に変化がありました。新型コロナウイルス感染症の流行によって授業のほとんどが遠隔授業になったのです。この年の前期に関しては大学に行かずに全ての授業を実家で受けていた気がします。対面から遠隔という変化に上手く対応することができるか不安でしたが、私が所属する人間情報工学コースでは情報分野を専門としていることもあり、素早く移行して慣れることができました。社会の環境が変化してもその状況にすぐに対応できるようになるのがこのコースの強みではないかと思いました。この2年間の生活の変化を経験したことで、対面授業と遠隔授業が混ざった3年生での生活もスムーズに送ることができたのだと感じています。

3年間を通して振り返ると、コースに配属された時の授業の変化も大きかったと思います。人間情報工学コースの代表的な授業は何かと言われるとやはりプログラミングの実習が思い浮かびます。私はプログラミングを大学から学び始めたため、最初は基礎を覚えるだけでも苦労しました。しかし、試行錯誤してコードを書き、やっとプログラムが正しく動いた時の達成感が大きく、苦しみながらも楽しく学ぶことができました。3年生になるとその内容も応用的で難しいものになりましたが、2年生のうちにある程度実習に慣れていたのですぐに授業についていくことができました。

ここまで紹介してきたことは私の経験ですが、なかなか環境に慣れずに困る人も現れると思います。困ったときや悩みがある時は友人や先生に相談してみると良いかもしれません。特に、私が周囲に馴染むことができたのは友人の存在が大きかったと感じています。皆さんの大学生活が楽しく充実したものになることを願っています。

研究とラーメン

有川研究室 令和4年3月学部卒業
藤原 稜大

大学では多くの場合、卒業するために研究を行う必要があります。しかし、研究がどのように行われるのかをよく知らないという人もたくさんいると思います。そこで、一年間研究を行ってきた身として、ラーメンを絡めながら研究の流れを紹介します。

まず、ラーメン屋さんでラーメンを食べているときのことを想像してください。当然、ラーメンを美味しく食べたいと思っています。研究であれば、これが研究目的となり研究がスタートします。

ラーメンを食べ進めていくと、麺が伸びたり、スープが冷めたり、こってりした味に飽きたりし始めました。その中でも、こってりした味は我慢ならなかったため、なんとかしたいと思いました。研究であれば、今までの授業や読んできた論文などを元にオリジナルの研究課題を決めていきます。課題は「普通」と呼ばれるものの中に潜んでいることもあるので、見たり聞いたりするだけでなく自分で体験することも重要です。

こってりした味をなんとかするために、テーブルに並んだ調味料の中から酢を選んでラーメンに入れました。研究であれば、酢を入れることが課題を解決するためのアイデアに当たります。アイデアを思いつくには知識の引き出しを多く持っていることが大切です。今回の場面では、並んでいる調味料のことをある程度知っていたからこそ酢を選んで、入れる量もたくさん入れるとすっぱくなり過ぎることを知っていたので、少しの量を入れたはずでした。

ラーメンに酢を入れただけでは終われません。味が変わったか、美味しく食べることができるかを実際に食べて確認する必要があります。研究であれば、課題を解決できているかを実験によって評価する必要があります。研究によっては、酢を入れることで栄養価も上がったというような、予想していなかった発見もあるかもしれません。

ラーメンを完食した後は、感想を友達に伝えます。感想を伝えることで、その友達も同じような食べ方を試すかもしれません。研究であれば、大学での卒業論文の執筆や卒業課題研究発表会、学会での研究発表がそれに当たります。研究の内容を論文や発表として残したり、伝えたりすることで、その研究を研究室の後輩が引き継いだり、外部から引用されて新しい研究が生まれることに繋がります。

以上が研究の流れです。秋田大学の近くにはラーメン屋さんがたくさんあるので、ラーメンを食べているときに思い出してもらえると幸いです。

アウトプット

水戸部研究室 令和4年3月大学院博士前期課程修了
佐藤 光喜

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。コロナ禍において状況は日々変化していますが、在学生の皆さんも元気に過ごせているでしょうか？

ここでは私が6年間人間情報工学コースに所属して意識することの多かった「アウトプット」である「知識を使うこと」、「人に伝えること」について書きたいと思います。

私が学部3年生のとき、コース主催のプログラミング大会であるハッカソンが開催されました。ハッカソンでは、問題に正解するようなプログラムを作り、その正解数と時間を競います。問題を考える中で、これまで学んできた内容が頭の中で繋がり、それを活用し問題に正解するのは他には無い楽しさです。また実際に知識を使うことで、これまでは知っていただけだった情報が自分のものになるような感覚がありました。加えてハッカソンへの挑戦をきっかけとして、私はハッカソンの問題を作成するアルバイトを始めました。題材となるアルゴリズムを調査し、そのアルゴリズムを使った問題を作成することで自分の扱える知識が身についていくことは、とても嬉しい感覚でした。この調査と知識の実践の繰り返しは、研究する上でも役立ちます。

また、授業のプレゼン課題、研究室でのゼミや卒論、大学院では他学科他コースの人への研究紹介や学会での発表、就職活動では面接など人に物事を発表する機会は少なくありません。授業や研究室では同じコースや同じ研究室内といった同じ知識を持つ人への発表が主ですが、大学院では他コースや他大学など自分とは別の知識を持つ人への発表の機会もありました。私は大学での発表では「自分の伝えたいこと」を重視していましたが、大学院での発表を経て「初めて聞く相手に伝わるか」、「伝えるためには何が必要か」、「相手の興味は何か」ということを意識できるようになったと思います。新入生や在学生の皆さん、伝える練習の場が増えるという一側面からも大学院進学を検討してみるのも良いのではないのでしょうか。

これらのアウトプットのためには、活用するための知識や経験をインプットすることも必要です。趣味、アルバイト、勉強など、なんでも興味のあることはとりあえずやってみましょう。また行き詰まったときは友人や先輩、教員の皆さんに相談してみるとすぐ解決することもあるので、積極的に頼ってください。そして学んだことをどんどんアウトプットしましょう！

Information of
情報

昨年度から人間情報工学コースの進路指導を務めております。2021年度も新型コロナウイルスと共存しながらの就職活動となり、インターンシップや会社説明会等のイベントだけでなく、最終面接までオンラインとする企業が殆どとなり、コロナ禍により就職活動のデジタル化が進みました。首都圏から遠く離れた立地が就活でのハンディキャップだった秋田大学ですが、今年度はオンライン化の恩恵を受けて移動に必要な旅費と時間が削減され、従来の対面での面接では移動時間の関係で実現不可能なスケジュールも秋田市のアパートから難なくこなすなど、就活におけるDXが進んだように思います。また、急速なデジタル化により世界的に情報系の技術者が必要とされたため、コロナ禍にもかかわらず求人数は一昨年、昨年と変わらず200社を超え、最近では情報系の企業だけでなく、製造メカ系の情報部門や電動化に注力する自動車業界からの求人も多数あり、人間情報工学コースの専門分野が社会で必要とされていることを強く感じました。

2021年度(2022年3月卒業・修了生)の進路状況を表1にまとめます。大学院生の進路は専門性を活かして研究・開発職が多く、殆どが第一あるいは第二志望の会社から内定を得ていました。学部生も就職希望の学生の就職率は100%でした。数多くの就職試験を繰り返す過程で自分が本当にやりたいことが明確になるヒトも居りますが、

当コースの学生は仕事を通して実現したいGoalを明確に定め、数社の就職試験で内定を得る効率の良い就職活動ができていているように思います。

大学院生の進路に研究・開発職が多い理由としては、専門性に加え、デザインし実行する能力の高さが評価された結果だと考えます。自分自身について語る時、これまで情熱を注いできた研究内容を伝えることができる点も大学院生の大きなメリットです。困難に直面したときにも「目を輝かせてチャレンジできるヒト」は、自身の希望とキャリアをより高いレベルで叶える可能性のある企業に就職しているように感じました。

人間情報工学コースでは、学生の皆さんが自身の進路を考える際の参考にしていただくため、キャリアデザインに関する各種ガイダンス、先輩による就職活動に関する報告会、卒業生・修了生による進路に関する講演会、情報技術に関する講演会などを積極的に開催しています。一見関係の無いような話であっても、直面している課題を解決するヒントや新たな視点が得られることが多々あります。自分の力となるように積極的に取り組むことをお勧めします。

ポストコロナの新しい時代を切り開くために、日々の授業を通して確固たる専門性に加え、研究室での研究活動を通して他人を理解して共創できる人間力を養っていただきたいと思います。

表1 人間情報工学コース大学院生・学部生の進路状況(人数)

	大学院進学	一般企業	公務員	その他	未定	合計
大学院2年次	3	8	1	0	0	12
学部4年次	25	20	0	1	0	46

令和3年度卒業生 修了生進路先一覧

◆大学院博士前期課程修了生

[就職]

アイリスオーヤマ、秋田大学、JERA、ジェイテクトIT開発センター秋田、DOWAホールディングス、日本電気(NEC)、日本ライフライン、日立産業制御ソリューションズ、ブロードバンドセキュリティ

◆学部卒業生

[進学]

秋田大学大学院博士前期課程(22名)、他大学大学

院博士前期課程(3名)

[就職]

NECソリューションイノベータ(2名)、NTT東日本グループ、北日本コンピュータサービス、スズキ、ソリマチ、タップ、DNPデジタルソリューションズ、TDK、東光鉄工、ドコモ・システムズ、日本ビジネスシステムズ、日本無線、ビジュアル・プロセッシング・ジャパン、フューチャー、ヤマコ総合物流、横浜ソフトウェア、リコーITソリューションズ、レキオスソフト、ローレルバンクマシン

令和3年度 人間情報工学コース日誌

2021
令和3年

- 4月 1日 編入生遠隔ガイダンス
- 4月 2日 在校生遠隔ガイダンス、学部新入生遠隔プレガイダンス
- 4月 5日 入学式
- 4月 6日 学部新入生・大学院新入生対面ガイダンス(数理・電気電子情報学科126名、学部3年次編入3名、大学院博士前期課程19名、大学院博士後期課程__名の入学)、学部2年次・新入生遠隔就職ガイダンス
- 4月13日 初年次ゼミ「数理・電気電子情報学科」開始
- 4月16日 4年次個人面談1回目(4月23日まで、担当:水戸部一孝教授、石沢千佳子准教授)
- 4月22日 2年次個人面談1回目(5月13日まで、担当:有川正俊教授、高橋秋典助教)
- 5月10日 3年次個人面談1回目(5月17日まで、担当:有川正俊教授、橋本仁准教授)
- 6月15日 1年次個人面談1回目(7月6日まで、担当:有川正俊教授、白井光助教)
- 6月18日 日産自動車での講演会(オンライン)「自動車シミュレータで見る交通事故」(担当:水戸部一孝教授)
- 6月21日 理工学部編入学試験(一般)
- 6月24日 キャンパスクリーンデー<構内清掃>(担当:景山研究室)
- 6月28日 大学院博士前期課程1年次個人面談1回目(担当:有川正俊教授)、大学院博士前期課程2年次個人面談1回目(担当:有川正俊教授)、大学院博士後期課程個人面談1回目(担当:有川正俊教授)
- 7月 6日 秋田県立角館高等学校での講演会(オンライン)「5G時代のバーチャルリアリティ」(担当:水戸部一孝教授)
- 7月15日 北海道帯広柏葉高等学校での講演会(動画視聴)「人間情報工学とは～xRで創るポストコロナの時代～」(担当:水戸部一孝教授)
- 7月15日 秋田県立秋田北高等学校の「数理探究クラス課題」(表情認識に関するテーマ)の研究指導(オンライン、メール)(担当:景山陽一教授、鄒敏助教)(以降、不定期)
- 7月19日 インターンシップI<第1回> 講演会:「大学院進学と就職活動開始に関して」(特に、夏休みの企業インターンシップ参加への誤解解消)>、講演者:有川正俊教授
- 7月27日 秋田県立能代高等学校による研究室訪問(オンライン)「研究紹介やオンラインプログラミングなど」(担当:有川正俊教授、高橋秋典助教)(7月28日まで)
- 7月30日 キャンパスクリーンデー<構内清掃>(担当:水戸部研究室)
- 7月31日 オンラインオープンキャンパス・リアルタイム企画
- 8月 2日 大学院理工学研究科博士前期課程入試(推薦)
- 8月17日 秋田県立大館鳳鳴高等学校の「生徒課題研究」(プログラミングに関するテーマ)の研究指導(オンライン、メール)(担当:橋本仁准教授、内海富博助教)(以降、不定期)
- 8月25日 大学院理工学研究科博士後期課程入試(一般、

- 私費外国人留学生)
- 9月 1日 大学院理工学研究科博士前期課程入試(一般、私費外国人留学生)(9月2日まで)
- 9月24日 秋田県立秋田北高等学校の理科実践研修での実験・実習(対面)「画像処理の基礎とセンシングデータ解析」(担当:景山陽一教授、石沢千佳子准教授、白井光助教)、「身の回りの情報をIoT技術で見える化しよう」(担当:橋本仁准教授、内海富博助教)
- 10月 2日 理工学部総合型選抜I(出願資格A・B)入試、国際バカロレア入試
- 10月 6日 3年次個人面談2回目(10月13日まで、担当:有川正俊教授、橋本仁准教授)
- 10月 7日 秋田県立秋田北高等学校での講演会(オンライン)「画像・センシングで体調や気持ちを理解する一情報の共有から共感の共有を行うために」(担当:景山陽一教授)
- 10月 9日 オンラインオープンキャンパス・リアルタイム企画
- 10月11日 4年次個人面談2回目(10月19日まで、担当:水戸部一孝教授、石沢千佳子准教授)
- 10月15日 2年次個人面談2回目(10月22日まで、担当:有川正俊教授、高橋秋典助教)
- 10月27日 インターンシップI<第2回> 報告会:学部生と大学院生による就職活動・進路選択に関する体験報告、講演者:理工学部数理・電気電子情報学科人間情報工学コース4年次 菅原菜月氏、田村智一氏、高橋世那氏、大学院理工学研究科数理・電気電子情報学専攻人間情報工学コース博士前期課程2年次 山田真奈氏、加藤裕太氏
- 11月 4日 北海道帯広柏葉高等学校での講演会(オンライン)「大学で学ぶことの意義」(担当:水戸部一孝教授)
- 11月 5日 キャンパスクリーンデー<構内清掃>(担当:有川研究室、橋本研究室)
- 11月 8日 情報処理学会東北支部研究講演会(インターンシップI<第3回>)講演会:IT 業界に関連する講演会、「地方を活性化させるニューノーマル」～新しい消費スタイルと小売 DX の在り方～、講演者:林雅也氏(株式会社ecbeing代表取締役社長)
- 11月15日 北海道教育大学学生による研究室訪問講演会(対面)「大学院入試について」(担当:景山陽一教授、水戸部一孝教授)
- 11月19日 大学院博士前期課程1年次個人面談2回目(12月10日まで、担当:有川正俊教授)、大学院博士前期課程2年次個人面談2回目(12月10日まで、担当:有川正俊教授)
- 11月29日 インターンシップI<第4回> 講演会:卒業生による進路に関する講演会、講演者:加賀真之介氏(株式会社ソフトクリエイティブホールディングス)、TON THAT LOI(トン タット ロイ)氏(東北大学大学院理工学研究科)、福田亜紀氏(日本電信電話株式会社)
- 11月30日 1年次個人面談2回目(12月21日まで、担当:有川正俊教授、白井光助教)
- 12月 3日 令和3年度大学院博士前期課程修士論文中間審査(中間発表会)、情報処理学会東北支部研究会
- 12月10日 大学院博士前後期課程個人面談2回目(担当:有川正俊教授)
- 12月18日 インターンシップI<第5回> プログラミングハッカソン、協力:444株式会社
- 12月22日 大学院理工学研究科博士後期課程入試(第2次募集)
- 12月23日 大学院理工学研究科博士前期課程入試、外国人留学生(第2次募集)

12月27日 秋田県立本荘高等学校による研究室訪問講演会
(対面)「画像処理の基礎とセンシングデータ解析」(担当:石沢千佳子准教授、白井光助教)、「身の回りの情報をIoT技術で見える化しよう」(担当:橋本仁准教授、内海富博助教)

人留学生入試
2月 8日 令和3年度大学院博士前期課程修士論文最終審査会
2月 9日 令和3年度卒業課題研究発表会(2月10日まで)
2月14日 3年次個人面談3回目(2月16日まで、担当:有川正俊教授、橋本仁准教授)
2月24日 大学院博士前期課程1年次個人面談3回目(オンライン)(担当:有川正俊教授)
2月25日 一般選抜前期日程
3月12日 一般選抜後期日程
3月22日 秋田大学卒業式



1月15日 大学入学共通テスト(1月16日まで)
1月21日 理工学部総合型選抜Ⅱ入試、理工学部私費外国

受賞・表彰

学会賞受賞

- 令和3年 3月 The 9th IIAE International Conference on Industrial Application Engineering 2021 (ICIAE2021), Best Student Paper Award
中村悦郎氏(博士後期課程2年、景山研究室)
- 令和3年 6月 情報処理学会東北支部、奨励賞
石崎瞭氏(2021年3月博士前期課程修了、景山研究室)
伊東慎平氏(2021年3月博士前期課程修了、有川研究室)
- 令和3年 6月 日本素材物性学会令和3年度年会、優秀論文発表賞
山田真奈氏(博士前期課程2年、景山研究室)
- 令和3年 10月 The Ninth International Conference on Materials Engineering for Resources (ICMR2021), Excellent Poster Award
雲河晨氏(博士後期課程1年、景山研究室)
- 令和3年 12月 IEEE Sendai Section, Student Awards [The Encouragement Prize]
彭湘玲氏(博士前期課程2年、有川研究室)
IEEE Sendai WIE, Sendai WIE Awards [The Encouragement Prize]
山田真奈氏(博士前期課程2年、景山研究室)
- 令和4年 3月 情報処理学会第84回全国大会、学生奨励賞
菊地亮太氏(博士前期課程1年、景山研究室)
杉原海斗氏(博士前期課程1年、景山研究室)
武田里音氏(博士前期課程1年、有川研究室)
永石明日斗氏(博士前期課程1年、有川研究室)
和光佑紀氏(博士前期課程1年、有川研究室)
山田真奈氏(博士前期課程2年、景山研究室)
渡邊成美氏(博士前期課程2年、景山研究室)
- 令和4年 3月 令和3年度 日本知能情報ファジィ学会東北支部研究会 研究会特別奨励賞
西川鍊氏(学部4年、景山研究室)
令和3年度 日本知能情報ファジィ学会東北支部研究会 研究会奨励賞
伊藤希穂氏(学部4年、景山研究室)
山本一輝氏(学部4年、景山研究室)

成績優秀表彰

- 令和3年 4月 令和2年度 人間情報工学コース長表彰
2年次 佐藤秀翔氏
- 令和4年 3月 令和3年度 情報処理学会東北支部学生奨励賞
4年次 田村智一氏
- 令和4年 3月 令和3年度 北光会賞
4年次 塚田悠介氏
- 令和4年 3月 令和3年度 学生表彰奨励賞
中村悦郎氏(博士後期課程3年、景山研究室)
- 令和4年 3月 令和3年度 秋田大学副学長表彰
雲河晨氏(博士後期課程1年、景山研究室)
- 令和4年 3月 令和3年度 理工学研究科長表彰
菊地亮太氏(博士前期課程1年、景山研究室)
高松未佳氏(博士前期課程1年、景山研究室)
永石明日斗氏(博士前期課程1年、有川研究室)
本田悠将氏(博士前期課程1年、景山研究室)
和光佑紀氏(博士前期課程1年、有川研究室)
佐々木一織氏(博士前期課程2年、有川研究室)
山田真奈氏(博士前期課程2年、景山研究室)
彭湘玲氏(博士前期課程2年、有川研究室)
- 令和4年 3月 令和3年度 人間情報工学コース長表彰
3年次 及川大智氏
2年次 木内匠氏

人間情報工学コース プログラミングハッカソン

- 令和3年 12月 最優秀賞(第1位):及川大智氏
優秀賞(第2位):高橋怜登氏
優秀賞(第3位):高橋駿哉氏

※受賞時の学年・所属

人間情報工学
コース
スタッフ紹介



教授 景山 陽一



教授 水戸部 一孝



教授 有川 正俊



准教授 橋本 仁



准教授 石沢 千佳子



准教授 藤原 克哉



講師 中島 佐和子



助教 内海 富博



助教 白井 光



助教 鄒 敏



技術専門職員 齋藤 正親



技術職員 佐藤 諒



技術職員 伊藤 悠大



協力教員
准教授 横山 洋之



事務室
事務系スタッフ 佐藤 功子

令和4年度
人間情報工学コース
各役割分

- ◎コース長
- ◎就職担当(大学院および学部学生)
- ◎学年担任

景山 陽一
有川 正俊
1年次 内海 富博
2年次 白井 光
3年次 中島 佐和子
4年次 橋本 仁

編集後記

Information of 情報 Vol.32 はいかがでしたか？ 2021年度も新型コロナウイルスによる影響が続きました。学生の皆さんには、授業や研究を進める中での負担もさまざまにあったと思います。しかし、卒業生や在校生のメッセージからは、そのような中でも知恵を絞ってそれぞれに充実した大学生活を送った様子がうかがえます。また、2名の新任教職員を迎えて、一段と元気でバラエティに富んだコースになりました。ご多忙の中ご寄稿くださいました皆さまに心より感謝いたします。ありがとうございました。(編集担当:中島佐和子)